



ふるさと笠松の「ちょっといい話」No.78



「きれいな環境をつくれれば、ゴミは捨てられない！」



笠松町内にあるマリオン名岐バイパス店では、4年前から2ヶ月に1回程度、地域の清掃活動を行っています。参加者は毎回6人から10人程度とのことです。会社の定休日に行っているため、どの人もボランティアでの参加です。朝の9時から11時頃までの2時間にわたって、主に神社や道路、堤防などのゴミや空き缶などを拾っているそうです。多いときには45リットルのゴミ袋に5、6袋集まるとのことです。下の写真は清掃活動の時の様子です。

どうして、地域の清掃活動を始めたのか、ストアマネジャーの河野さん(左の写真)にインタビューしました。すると、「『広く社会に貢献する会社』でありたいという企業理念にそって、日頃お世話になっている

↑ストアマネジャーの河野さん 地域にお礼の意味をこめて、清掃活動を行っています。」ということでした。また、「会社のそばの道路には、缶やコンビニで買った品物の袋などがポイ捨てされていて、たいへん汚いです。ディズニーランドや世界遺産のように、ゴミのない環境をつくれれば、ゴミを捨てようという気持ちはおきないのではないかと。汚い環境がゴミを捨てることにつながっている。きれいな地域をつくるためには、常にきれいな環境にしておくことが大切だと考えて、地域清掃に取り組んでいます。」と答えてくださいました。今後も定休日の清掃活動を行っていきたいとのこと。清掃活動に参加する人がどんどん増え、きれいな環境が守られる笠松町であることを心から願わずにはられません。



「ちょボラ」で古切手が1年間に4,188枚集まりました。感謝します。



平成25年度の1年間だけで、古切手が4,188枚中央公民館に寄せられました。平成23年度からでは6,939枚の善意が公民館に届けられました。公民館では寄せられた古切手を笠松町社会福祉協議会に届けています。その古切手はボランティアグループの「木曜めぐみの会」の皆さんが整理していただきます。社会福祉協議会では古切手を業者に送り、換金して福祉に使っています。皆さんも「ちょボラ運動」にふるってご参加ください。



古切手の周囲を5mm残して切る。

幼保、小中、高大学生の皆さんからボランティア体験を募集します。ぜひ、お寄せください。また、町内で「ちょっといい話」を小耳にはさまれましたら、笠松中央公民館担当まで電話、FAX、手紙、意見箱などの方法で、ご連絡いただくと幸いです。記事にさせていただくことがあります。なお、この「ちょっといい話」は笠松町のホームページの「道德のまち」のパナーをクリックすることによって、第1号から最新号まで閲覧できます。ご活用ください。Tel 388-3926 FAX388-3233